

質 疑 回 答 書

件名 前谷地小学校屋内運動場改築工事

	質問事項	回答
Q1	総合評価における類似工事の条件について、延べ床面積が 1,000 m ² 以上の公共施設の新築、改築、増築と記載がありますが、1 契約工事で建物 A と建物 B の延べ床面積の合計が 1,000 m ² 以上の場合は条件を満たすと考えてよろしいでしょうか。ご教授願います。	お見込みのとおりです。
Q2	段鼻ノンスリップタイル（各段）について、図面 A-106 矩計図 1 に記載がありますが、工事費内訳書には記載がありません。設計変更の対象と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	段鼻ノンスリップ（SUS 製）として下さい。内訳書 P. 46（1. 屋内運動場新築工事 金属外部）に計上しております。
Q3	工事費内訳書 建築工事 別紙明細 直接仮設のくさび緊結式足場及び内部仕上足場について、布板幅の記載がありません。御指示願います。	直接仮設の足場は任意仮設になりますが、くさび緊結式足場は幅 900mm、内部仕上足場は幅 240mm で計上しております。
Q4	図面 S-021 地盤調査位置図、土質柱状図 No. 1、No. 2 のボーリングデータについて、孔内水位が GL-0.65～1.03m と記載がありますが、基礎下端が GL-2.6m であることから、ウエルポイントが必要と思われます。設計変更の対象と考えて宜しいでしょうか。御指示願います。	土質がシルト層であるため、ウエルポイントでの施工が困難となることから、水替えとして必要な設備は計上しております。（A-015 仮設計画図）
Q5	山留工事のシートパイル打込・引抜時に樹木及び枝・根が障害となり、施工が困難な箇所があり、また引抜が出来ず残置となる恐れがあります。ご指示願います。	屋内運動場周囲の樹木は南側一部を除き、全て伐根伐採とするため、シートパイルの打込及び引抜には支障ないと判断しております。
Q6	仮設工事の鉄板敷き部北側舗装部分については、不陸が大きく、鉄板を敷設	北側舗装部の不陸調整は別途協議とします。また、敷地周辺の汚損対策は共通仮設費率で

	するとガタつきや凹凸が生じ、第 3 者災害の恐れがあります。よって、鉄板敷設に先立ち砕石等による不陸調整を行う必要があると考えます。また、隣接するグラウンドから道路へ土砂が流出し、汚損を生じる恐れがあるため、土木シート敷設及び砕石敷均しの上で鉄板を敷設する方法が望ましいと考えます。以上について別途協議と考えてよろしいでしょうか。ご指示願います。	計上されております。
Q 7	杭残土埋戻と有りますが固化剤（セメント）を使用して再利用する想定でしょうか。再利用は困難と考えられるため、杭残土は産廃処理し購入土で埋め戻しを行うのが適当と考えます。ご指示願います。	杭残土の建設汚泥は敷地内に残置及び天日乾燥させ、埋め戻し時に再利用する設計としております。
Q 8	渡り廊下のピット部分のスラブ枠解体が不可能となります。どのように考えたら良いでしょうか。ご指示願います。	渡り廊下にはピットはありません。基礎底盤上部は土による埋め戻しのうえ、土間スラブ施工となります。